

実績報告書

届出者	住所	大阪市天王寺区悲田院町10番48号	氏名	天王寺 S C 開発株式会社 代表取締役社長 大橋 幸之助
特定事業者の主たる業種		69不動産賃貸業・管理業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		物販・飲食・サービス店舗への賃貸業務 ショッピングセンターの運営管理		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間	
平成 26 年 4 月 1 日～	平成 29 年 3 月 31 日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度(25)年度	前年度(28)年度
温室効果ガス総排出量	9,934 t-CO ₂	8,552 t-CO ₂
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	11,005 t-CO ₂	9,496 t-CO ₂
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO ₂

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (28 年度)	第1年度 (26 年度)	第2年度 (27 年度)	第3年度 (28 年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	3 %	5 %	13 %
		削減率(原単位ベース)	0 %	0 %	0 %
削減率(平準化補正ベース)		— %	4.7 %	12.7 %	13.8 %
吸収量による削減率		0 %	0 %	0 %	0 %

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 ()	
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

(4) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理)

<p>本館については、共用部の照明をLED化したことでCO₂排出量を大きく削減できた。 プラザ館については、28年度より前に、ほぼLED化が完了しており、大きく削減できる内容が無く、逆に、残暑が長引いたことにより空調で使用するガスの使用量が増え、CO₂排出量も増えた。 電気需要の平準化については、消費量の多い空調設備を中心に、ガスとの併用で、ピーク電力のカットなどの対策を行ったことで、平準化時間帯買電量を本館・プラザ館ともに、削減できた。</p>	
---	--

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

省エネに関する委員会を設置し、既存設備でできる対策、設備更新による削減などの勉強を行うとともに、社内啓発やテナントへの啓発を行う。

(2) 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策の実施状況

1. 産業・業務分野

No.	温室効果ガス (GHG) の排出 及び人工排熱 の区分		事業所名	対策項目	対策の内容	実施スケジュール (年度)
1	レ	GHG排出	天王寺ミオ 本館・プラ ザ館	コード (1111) 省エネPTによる 会合・勉強会	省エネPTの定期的な会合・勉強会など省エネに関する技術等の情報収集・検討 ⇒H28年度 2回実施 【継続件名】	26 年度
	レ	人工排熱				28 年度
	レ	平準化				
2	レ	GHG排出	天王寺ミオ 本館・プラ ザ館	コード (1113) 店舗空調機の 制御改善	外気冷房等、空調機の高効率運転 ⇒H28年度 2店舗空調機更新 【継続件名】	26 年度
	レ	人工排熱				28 年度
	レ	平準化				
3	レ	GHG排出	天王寺ミオ 本館・プラ ザ館	コード (1218) 省エネ型の器 具への更新	省エネ効果の高い照明設備への更新 改装店舗区画及び共通路照明のLED照明へ の変更 ⇒H28年度 本館5F 共用通路 約20店舗更新 【継続件名】	26 年度
	レ	人工排熱				28 年度
	レ	平準化				
4	レ	GHG排出	天王寺ミオ 本館・プラ ザ館	コード (1218) 点灯時間・箇 所の見直し	照明点灯時間・箇所の見直し 後方スペースの照明の減灯、営業時間外の照 明の間引き等 ⇒H28年度 荷捌き車路の点灯時間調整 【継続件名】	26 年度
	レ	人工排熱				28 年度
	レ	平準化				
5	レ	GHG排出	天王寺ミオ プラザ館	コード (1113) 店舗空調機の 制御改善	ターボ冷凍機の運転時間の見直し 運転時間短縮、設定温度上昇等の実施 ⇒H28年度 電力ピーク時にガス式の冷 凍機に切り替えて平準化を図った【継続 件名】	26 年度
	レ	人工排熱				28 年度
	レ	平準化				

2. 自動車分野

No.	温室効果ガス (GHG) の排出 及び人工排熱 の区分		事業所名	対策項目	対策の内容	実施スケジュール (年度)
1		GHG排出		コード		年度
		人工排熱				～
						年度

(3) その他の抑制対策
